

夜遊びをしない勇気 させない愛情

青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動に参加しよう



昨年、県内で非行少年として補導された人数は、ついに史上最高の3万人を大きく越えました。特に、深夜はいかいでの補導が多く、深夜における青少年の非行や事件・事故が多発し、大きな社会問題になっています。

こうした問題を解決するために、県は「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」を家庭、学校、地域社会といっしょになって行っています。青少年が健やかに成長することを願い、一斉行動に積極的に参加して青少年の深夜はいかいをなくしましょう。

昨年、県内で非行少年として補導された人数は、ついに史上最高の3万人を大きく越えました。特に、深夜はいかいでの補導は全国平均を大きく上回り、大変深刻な状況です。

青少年の非行や事件・事故は、深夜に多く発生しています。交通事故、暴走行為、飲酒、喫煙、薬物乱用、暴力、外泊、家出、不良交友など、青少年の深夜はいかいによって起こる問題を数えたらきりがありません。事実、深夜に飲酒し、オートバイ事故で命を落とした少年や足を骨折し切断了した少年がいます。

青少年の深夜はいかいの原因として、沖縄の夜型社会があると言われています。家庭、学校、地域社会、関係機関・団体などが一体となって沖縄の夜型社会を正し、青少年の深夜はいかいをなくしていく努力をしなければなりません。このため県は「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」を家庭、学校、地域社会といっしょになって行っています。

取り組みの内容は、次の通りです。

青少年の深夜はいかい防止
県民一斉行動・出発式
七月十日（木）県庁前広場
住民大会（街頭パレード）
七月十一日（金）各市町村
夜間街頭指導（ボランティア募集）
七月十八日（金）各市町村
家族だんらんタイム
七月十四日（月）～二十日（日）
青少年の声（作文）募集
深夜はいかい防止ポスター・
標語の募集

青少年が規律正しい生活態度を身につければ、一日一日を大切に過ごし、健やかに成長していくことができるでしょう。

大人も大いに反省し、夜型社会を直していかなければなりません。大人は、夜できるだけ早く帰宅し、子どもに声をかけたり、温かい心で接してください。子どもたちは、それを心から望んでいるのです。

沖縄県知事賞（作文）

「深夜徘徊について」

伊良部中学校三年 国頭 由奈

毎年、夏休み前になると、深夜徘徊巡回指導のお知らせを目にしますが、今まで私は、深夜徘徊の問題について、無関心なところがありました。ところが今では、そうも言っていられなくなりました。私の家族の中で深夜徘徊の問題が起こったのです。

兄は中学の頃、「友達と夜遊ぶと不良になる」と言っていましたが高校生にもなると親が寝静まった頃、部屋から抜け出して夜遊びをするようになってしまいました。私たち家族ではいつしか、兄の夜遊びのことを「夜逃げ」というようになっていました。姉は、「お母さん、お兄ちゃんまた夜逃げしたよ。」と、心配そうに母に訴えていました。それでも兄は、母の注意に耳をかたむけようともせず、週末になると、あたり前のように、夜遊びを繰り返していました。私と姉は、兄が深夜徘徊をするたびに、警察に補導されていなか、心配でなりません。兄に、「なぜ深夜徘徊をするの?」と聞くと、「友達と夜集まって話をしたり遊んだしたら楽しい、これが普通。」と平然とした顔をして言っ

ていました。私たちが心配で夜も眠れないことも知らず、平気でそんなことを言う兄の態度に、開いた口がふさがりませんでした。

そんな生活も続いたある日の夕方のこと、兄は数人の友達に誘われ、遊びに出かけました。兄と友達は、最初は早く帰宅するつもりだったようですが話がはずみ、缶ビールを一本づつ飲んで、帰ることになりました。兄の友達は、車で一人の友達を送り、その帰り道、ハンドルを切り損ねて畑に車ごと転落してしまいました。その時の時刻は午前0時を過ぎていました。兄の友達は通りがかりの人に助けられ、幸い命に別状はありませんでしたが、足の骨を折るという重傷を負いました。兄達は、深夜徘徊を繰り返す事で、睡眠不足になり、また未成年者でありながら、飲酒をしたということで、事故を招いてしまったのも当然だったと私は思っています。

私は兄に、もっと自覚を持ち、正しい行動をして欲しいと思っていましたが、それから兄は、事故の恐ろしさから、事の重大さに気づき、家族や友達そして学校に、迷惑をかけ

た事を深く反省し、深夜徘徊をすることもなくなりました。その事故をきっかけに兄の態度は変わり、無事大学に進学することができました。

私たちの周りには、青少年のさまざまな事件が起きています。例えば酒やタバコなど、薬物乱用の問題があげられますが、それはこの深夜徘徊の問題と深く結びついてくるのではないのでしょうか。まず、深夜徘徊をさせないことが、薬物乱用を未然に防ぐために必要なことなのではないでしょうか。私たちの島では、都会と違って、遊ぶ範囲も限られているため、親も子供の行動に無関心なところがあるように思われます。

しかし、それではいけないのではないのでしょうか。マスコミ等でもさわがれ、年々増え続けていく、青少

年の深夜徘徊について、親はもっと関心を持ち、自分の子と、他人の子と区別をせず、どの子供に対しても勇気を持って、注意を呼びかけて欲しいと思います。そして今、深夜徘徊をしている人はきっぱりとやめて欲しいと思います。

私が兄の体験を通して、気づいたことは、高校生にもなるとあたり前になってしまいがちな深夜徘徊ですが、私たちは決してそれを、してはならないという事です。この問題を改善するためには、私たち中学生の一人一人がもっと自覚を持ち、深夜徘徊について真剣に考えていかなければならないのです。自分の未来のために、今の一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。それが、私たちの役目なのです。



沖縄県知事賞（ポスター）
首里東高等学校2年 高良 枝里香



7月18日(金)の午後10時～午前0時に、ボランティアによる夜間街頭指導が行われます。ボランティアは各市町村で募集しますので、多くの方が申し込んでくださるようお願いいたします。

昨年、夜間街頭指導に参加されたボランティアの方々の声を紹介します。

活動については、素晴らしい活動なので今後も頑張っていきたい。

地域との関わりを密にして、子どもたちを大切に指導しながら、健やかに育てていきたいと思う。

深夜に生徒がバイク事故でケガをし、その対応に大変であった。

夜間街頭指導をしての事例を発表して、皆で意見交換をして、今後に活かしたい。

地域の一人として常に声かけ指導をしていて、注意だけでなく明日につながるような前向きな声かけ指導を行っている。

声かけをしても無視したり、時には反抗的な態度をとるなど、なかなか行為を改めない子どもに対しての指導をどうすればよいか悩んでいる。

ボランティア 夜間街頭指導

今後も各地域の指導員の皆様と情報交換し、時には他の地域の夜間街頭指導にも参加したい。

有職・無職少年と高校生がいっしょに飲んでいるケースが多い。

夜11時頃手首を切って自殺しようとした生徒が助けを求めて来て、その対応をした。

夜間指導を行ったおかげで地域の深夜はいかい防止につながっていると思う。今後も地域の皆様と協力して青少年の健全育成に努めていきたい。

青少年の飲酒場所としては、市内の公園や学校の敷地内が目立つ。

「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」の取り組みをご理解いただき、積極的に住民大会やパレード、また、ボランティアによる深夜街頭指導に参加していただきますようご協力をお願いします。

●お問い合わせ
青少年・児童家庭課
TEL. (098)866-2174 FAX. (098)868-2402



「青少年の深夜はいかい防止 県民一斉行動」出発式

七月十日(木)午後五時から、県庁前広場で出発式を行います。各市町村で行われる住民大会やパレード、夜間街頭指導などを、県民に広く知らせ皆が参加できるように働きかけます。
出発式終了後、「青少年の深夜はいかい防止」のためのチラシ配りをパレトくもじ前や沖縄三越前で行いますのでご協力をお願いします。



各市町村の取り組み



各市町村では、七月十一日(金)を中心に、住民大会(知事メッセージや生徒の決意表明など工夫した取り組み)を行います。またパレードを行い、「青少年の深夜はいかい防止」を住民全体で取り組んでいくことに努めます。皆で積極的に参加しましょう。